

太陽光発電事業



案内所に併設した太陽光発電施設

上信越高原国立公園内にあり、志賀高原の北に位置し、標高 1,500 メートル付近に広がるカヤの平高原。樹齢 300 年を超えるブナの原生林が広がり、日本一美しい森と評されるブナ林を散策することができます。キャンプ場のほか、ロッジや案内所なども整備されています。これらの施設はこれまで軽油を使用した発電機で電力を賄ってきましたが、令和 2 年度に村内で活動する NPO 法人太陽と水と緑のプロジェクトの協力のもと、太陽光発電機器を設置しました。これにより、一部の施設は太陽光で発電された電力で賄うことができるようになりました。また、冬期間の積雪にも対応できるよう、簡単に組立・解体ができるよう工夫がされています。順次、残りの全施設でも太陽光発電の電力で賄えるよう、発電機器を増やし、脱炭素の観光地を目指していきます。

NPO 法人太陽と水と緑のプロジェクトによる太陽光発電の普及のためのワークショップの様子



そのほか、村内では NPO 法人太陽と水と緑のプロジェクトが、令和 2 年度長野県元気づくり支援金を活用し、家庭向けの小型太陽光発電器の貸出を行いました。この発電機器は日中発電したエネルギーを夜間の照明として使用でき、また災害時にはスマートフォンの充電などにも活用できるものです。この NPO 法人は村内全体での、自然エネルギーの普及を目指し活動しています。